

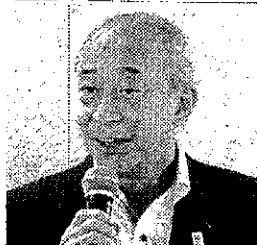
新報工業  
(2013.6.5)

島で第64回定例会を開き、12年度の事業・収支決算報告や13年度の事業計画などを審議、承認した。

冒頭、あいさつに立った荒谷会長は「政権が交代し、明るい兆しが見えてきた。この状況が続く事を期待する」としながらも「建設業は設計労務単価が引き上げられたが、われわれ業界は上がっていない。このままでは社員の給料も払えない」として「建設業の育成、維持を目的とする新しい契約制度を早く構築していただけるようわれわれ業界も強く要望していきたいかなければならない」と一致団結した取り組みを求めた。写真。

議事では、次期定例会を鳥取県で開くことを決めるとともに、用地測量の成果を活用した地籍整備の推進、公共工事の円滑な執行を図るため公共機関が発注する設計・施工監理補助業務の制度運用などについて意見交換した。

議事終了後には、中国地方整備局の安達久仁彦企画部技術開発調整官が「公共事業をめぐる話題」について講演した。



業界発展へ一致団結  
全測連中国地区協議会  
全国測量設計業協会連  
合会(全測連)中国地区  
協議会(荒谷壽一会長)

は5月22日、広島市中区  
のオリエンタルホテル広